

東郷元帥記念公園 第4回協議会 議事要旨

1. 開会(区)
2. 挨拶(区:環境まちづくり部部長)
3. 報告事項
○代替園庭整備に係るパブリックコメント結果の報告(子ども支援課)
4. 会長の挨拶
5. 議事
 - (1)議事要旨について(区)
 - (2)全体のゾーニングと動線(コンサル)
 - (3)事業スケジュール
 - (4)意見交換
6. その他(区)
7. 閉会(区)

<意見交換についての議事メモ>

会長:今後具体的なもののかたちとか施設の配置を考えていく、そのための前段として、こんな空間と機能を実現しましょうというところについて、今日は合意ができればと思っている。本日の議題は次の通り。

- ・上段のほうは児童と乳幼児を少し分けていこうという整理とする。
- ・中段については現状の目的利用を維持しながら少し広く使う。
- ・プールを取り除いた跡、なるべく下段の広場を広く使う方向とする。
- ・その間をつなぐ斜面については基本的にはこれまで通りですけれども、高さを処理する関係でこの斜面というのは少し広がって来る可能性がある。
- ・東郷坂の歩道部との連携については、案を2つ、どちらかの方向でなんとか坂と一体的に人が通るルートを設けたい。
- ・動線計画に関連しては、今の番町通り沿いの入りを移設し小学校の入り口と近いところに設けて、小学校の利用と一般の方の利用を分ける方向でいきたい。
- ・プールがなくなるということに関連し、いままでなかった東郷坂下のところに入りを設けたい。
- ・今日はこれであらかたのところできちっと修正をして、ここではこのかたちでいきますというところに落としていきたいと思っている。

委員

- ・出入口の位置が変わるがトイレ、ちよくるをどこに持っていかかが問題。ちよくるは出入口の近くが良いのでは。ただし基本的には公園の中にちよくるを置くのは反対。
- ・前回の議事録について間違いがあり、千鳥ヶ淵のトイレについて「千鳥ヶ淵のトイレをなくしたらタクシーが停まらなくなった」ではなく「トイレがある以上はタクシーが止まるのはしょうがない」と考えている。

委員

- ・東郷坂途中の西の出入口と東郷坂下の出入口について、「見通しが良くてバリアフリー」だと、子どもが飛び出すのではないかが気になる。出入口の安全性についての考え方を確認したい。

事務局

・たとえば横断防止柵などの物理的な方法や、注意喚起ができるような何らかの対応も必要と考えている。東郷坂下の出入り口に関しては車が東郷坂をスピードを出してまっすぐ走れないよう、車道側に何らかの作りこみが必要と想定している。

委員

・現在は朝に公園を通り上から降りてくる大人と番町学園通りから登校する児童が対面する形で混み合っていた学校の前の動線を、公園の主動線と学校の入り口を通った動線にはっきり分けたのは非常にありがたい。

・下段に車は入れるか。学校行事で下段に車が入ることが多いので、通常は閉まって、いざというときは柵をどかせば車が入れるつくりだと有り難い。

事務局

・管理車両も入るので車が入れるような構造にしないとイケないと想定している。常に開放しているかどうかは今後の検討の一つと考えている。消防車両が入るイベント等にも配慮できたらよいと考えている。

委員

・下段と中段を結ぶ斜面のところでは、急斜面部分の擁壁は整備後も残るか。

事務局

・実態を見ていると子供たちも緩い斜面の方が使いやすく遊びやすいと思っている。応急給水槽の北側部分の急な斜面の擁壁周辺は改修したい。

委員

・急であっても擁壁があっても段差があっても、子どもたちはそういうところ、自然のところも一つとして遊びにしている。

会長

・安全に安全にというのが行政の基本的な姿勢だが、そうすると子どもたちが冒険心みたいなものがなくなってしまう。たとえば全部植栽を植えてしまっ入れてないようにするのではなくて、段差の前だけ少し植栽を入れておいて、その坂からは落ちないようにしていて、あとの斜面は例えば高学年は入れる、大丈夫な子はいけるよというように使えるようにしておいてほしいとの意見と考えてよいか。

委員

・その通りである。そうしてほしい。

委員

・中段を削れば斜面の面積が広くなり小学校横の主動線の階段を緩やかにできるのでは。

・上の段の遊具は比較的新しいが、全部取替えるのか、どの程度お金をかけるのか。それによってこちらが思ったように直らないのでは。

・プール跡地にそんなに大きいものをとは言わないが建物を建てることはできないか。それによってトイレやちよくる

の置場、喫煙所にも対応できるのではないかと。喫煙所では排気の機械をつけたりできるのでは。

- ・ポールを建てて、ボールが出ないように網を張ってボール遊びができるようにとか、そういうものも建造物とかになってしまうのか。
- ・アクセスしやすい出入口とは。結構バイクを入れて止めていたりするので、変に入りやすいと自転車、バイクを止める人がいるのでは。
- ・図面の二七通り沿いの民地と公園の境界で、今ある柵よりも住居側を公園の境界としているが大丈夫なのか。

会長

- ・斜面を広げることもあり得るのではないかとのご意見、これは具体的な設計の時に可能性があれば検討したい。
- ・遊具の入れ替え・補修の話、公園内の建屋建物・建築物の話、ポールの話。アクセスしやすさの意味がふわふわしている。事務局から説明してほしい。

事務局

- ・ロケット型の複合的な遊具は数年前に取り換えた。まだ遊具としても十分機能を果たせると考えており、例えば象徴として残してもいい。ターザンロープ等も健全であり、利用も結構されているので、引き続き残しても良いのかなというところ。細かいものとかあるいは追加すべきものとか、今後のいろいろ利用、遊ぶ対象が広がるという想定も考えて、追加していくというようなことはたぶんある。スペース等の兼ね合いもあるが、そのような方向が今基本であると考えているが、議論を踏まえてやっていく。
- ・建物は制限、法的な制約等がある。なるべく最小限というか、そういうところで必要な機能だけを備えていくというのが基本的な考え方。(建物を建てる可能性はあるけれどもそれほど大きいものは建つ感じではない)。機能を十分満たすというところ。
- ・アクセスしやすさの件については、バリアフリーの関係で、例えば車椅子の方が通れるよう柵の工夫とかをすると、自転車とかバイクとかも止めやすい状況になってしまう。自転車とかバイクは、専用の駐輪場を設けるケースもあるが、本公園ではスペース的に専用の駐輪スペース等を作るのは難しい。

会長

- ・「アクセスしやすい」の意味として、バリアフリーはまず前提で、見通しがよいこと、飛び出し等に対する安全が確保されたうえで、入りやすく、だけれどもあまり外に子供が飛び出すような繋がり方ではないという微妙なところを実現しているイメージかと思っていた。

事務局

- ・「アクセスしやすい」の意味として、会長の発言の通りである。

委員

- ・小学校前の動線は九段小学校と幼稚園にとっては通学路通園路となる。明らかにこの入り口からこの学校の前まで「ここが動線です」と分かりやすい形にするのか。

事務局

- ・現在は全体がダスト舗装でどこを歩いてよいか区分しづらいが、今回の整備ではたとえば 2m3m の幅で、ブロック等を用いて明快に区分できるよう、色でも区分できるようなかたちで誘導できたらよいと考えている。

会長

・今日確認したいのは、本日提示の動線、プランでよいかの話。基本的にはこの骨格構成で空間、具体的な施設を作りこんでいく。その前提条件として今日の配置と動線を検討させていただいて以下の通りここで合意させていただいた。

- ・入り口に関しては安全性を確保する。
- ・段差、斜面については基本的には現状のままの方向とする。
- ・色々施設に関する意見は、本日の合意を得てそのあとどう施設を作るかについては次の段階で検討する。
- ・東郷坂沿いについて、バリアフリー動線とすることについては今日合意をいただけたと思うが、今後もう少し具体的な検討をしていく。事務局案としては、絵の②のほうがお勧め。基本的にあまり木を切るよりは緩やかに2つの線がつながっていくという方向で検討を進めたい。

次回日程

- ・4月26日の18時30分とする。

閉会